提案

財政指標ワースト・ランキング

脱出のための処方箋 2

1 行革委の第一次答申は財政立て直しの第１歩

行財政改革委員会は、12 月 8 日に第一次答申を出しました。町の「ニュースレター No.1」でもお知らせしたとおり、この答申は、人件費の削減を大きな課題として、役場の職員数の削減や機構の見直しについて大胆な提言を行っています。

とくに、財政立て直しのために、令和 8 年度まで 5 年間の「財政危機緊急対応期間」を設定して、集中的に財政改革に取り組むことを求めています。

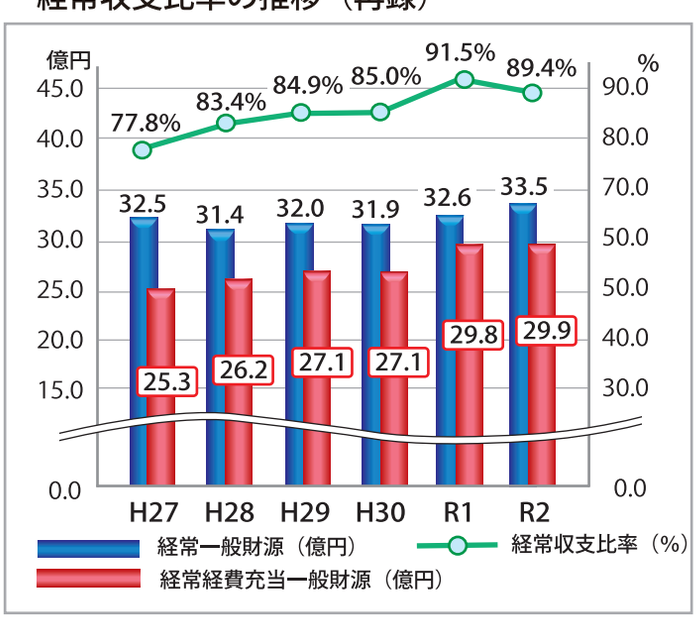
いまの池田町の財政状況は、家計に例えると、収入のほとんど全てが食料費や光熱費、医療費、教育費などどうしても必要な「経常的」な支出に使われて、家の修繕をしたり、電化製品を買い換えたり、家族で旅行に出かけたりすることができない状態になっているということです。しかも、その収入も今後減っていく可能性が高いのです。

その家計のあり方にメスを入れ、よりよい状態に戻そうという 1 つの処方箋が委員会の答申です。

2 経常収支比率 80％達成が財政危機克服の目安

財政危機を真に脱したと言えるのは、経常収支比率が 80％台前半を回復したとき。それまでは、経常経費の削減に集中することが何より重要です。

経常収支比率の推移（再録）



決算カードおよび町の財政資料より

3 基金積み立ての明確な方針が必要

財調頼みの基金運営は危険

下の表からも、財調が 5 億円になったから危機を脱したという認識がいかに誤りかが分かります。

使い勝手のよい財調を積むだけの基金運営では、これからの財政運営は乗り切れません。

長野県下 58 町村　積立金ランキング（R1）

ベスト・ランキング　　単位　億円

順位	町 村	基金残高
1	木曽町	82.5
2	軽井沢町	82.3
3	下條村	73.6
4	南牧村	70.6
5	佐久穂町	70.0
6	阿智村	63.7
7	小谷村	60.4
8	川上村	56.6
9	坂城町	51.6
10	南相木村	45.9

財調のみでは
トップが木曽町 50 億円

ワースト・ランキング　　単位　億円

順位	町村	基金残高
49	根羽村	16.5
50	王滝村	16.4
51	泰阜村	16.3
52	白馬村	16.1
53	生坂村	16.1
54	上松町	15.8
55	池田町	11.2
56	平谷村	9.6
57	小布施町	8.2
58	売木村	6.1

財調のみでは
池田町はワースト 6 位

財調 4 億円を保持、あとは特定目的基金の大幅積み増しを

財政調整基金は、突発的な収入減に見舞われたり、大災害が発生したときのために、常に保持しておくべき財源です。

「財調 4 億円、あとは特定目的基金と減債基金を計画的に積む」という基金運営の方針を確立し、当面、特定目的基金のうち、「公共施設等積立金」を今後 10 年間で 20 億円程度蓄えることが必要です。

池田町の町づくりの原資としても、施設改修の費用としても必要となる資金ですから、目標を決めて積み立てていなかければなりません。

そのためにも、経常経費と投資的経費の割合を 80：20 くらいに戻すことが必要なのです。